

2023年6月吉日

日本物流学会 会員 各位

第40回 全国大会実行委員会 委員長 矢野 裕児

## **第40回 日本物流学会 全国大会のご案内**

拝啓 学会員の皆様には、時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、「第40回日本物流学会全国大会」を本年9月15日(金)と9月16日(土)に開催することとなりました。今回は新型コロナウイルス感染状況を考慮しつつ、対面(流通経済大学新松戸キャンパス)とオンライン(Zoom)の併用による開催といたします。統一論題は「荷主との連携による持続可能な物流の実現」です。つきましては万障お繰り合わせのうえご参加くださいますようお願い申し上げます。統一論題の詳細とプログラムの概要は、添付の別紙をご参照ください。

大会に先立ち、**①大会参加費の払い込み(全国大会への参加登録を兼ねます)**および**②会員総会への参加登録**をお願いいたします。いずれも、日本物流学会のホームページのトップページ (<http://www.logistics-society.jp>) から手続き可能です。

**①大会参加費の払い込み**の方法および大会参加費は以下のとおりです。

[払込方法]

昨年同様、Yahoo! PassMarketのサービスを利用し、オンラインでおこないます。下記のURLにアクセスし、チケットの購入をお願いいたします。

<https://passmarket.yahoo.co.jp/event/show/detail/024z3qfdmv231.html>

注：Yahoo!のサービスですが、Yahoo!のアカウントは不要です(クレジットカードが必要)。上記のURLから「チケットを申し込む」をクリックし、「ログインせずに申し込む」を選択してください。

[大会参加費]

昨年同様、正会員3,000円、準会員1,000円、非会員5,000円です(対面、オンライン共通)。その他の会員種別の方は下記の注をご確認ください。なお、研究報告をする方は、必ず参加費の払い込みをお願いします。

注：**個人賛助会員**：正会員と同額(「正会員」のチケットを購入ください)

**シニア会員**：正会員の半額(「シニア会員」のチケットを購入ください)

**法人賛助会員**：一口当たり1名のみ無料(お1人目は「無料」のチケットを、お2人目からは「正会員」のチケットを購入ください)

**学会顧問**：無料(「無料」のチケットを購入ください)

大会参加費の払い込みの確認後、大会へのアクセス方法や研究報告集等の取得方法をメールにてご連絡いたします。なお、前回と同様に研究報告集は紙媒体ではなくデジタル化されたPDFにて配布いたします。

【問合せ先】 日本物流学会 第40回全国大会実行委員会 メールアドレス  
[2023jls40@gmail.com](mailto:2023jls40@gmail.com)

敬具

## 荷主との連携による持続可能な物流の実現

第40回全国大会実行委員会

ドライバー不足等による供給制約は中長期的な問題であり、2030年には物流需要に対して供給が約3割不足するという予測を、複数の研究機関等が発表している。経済、社会活動、そしてわれわれの生活を支えている物流が、今後も円滑に機能していくためには、物流システムの再構築、持続可能な物流の実現が重要となっている。

サプライチェーンにおいて、全体最適化を図ることの重要性が指摘される。しかしながら日本においては、自社の効率化を重視するあまり、各企業が個別最適で仕組みを構築し、業務を行っている場合も多い。同時に、企業間での情報の共有化が進まず、パレット等の標準化も進んでいない。さらに、自社の仕組みに合わせた無理なリードタイム、多頻度、小ロットでの納品を取引先に求めることも多い。このような状況のなか、企業間をつなぐ物流にしわ寄せがいき、非常に効率が悪いことが課題となっている。かつ物流センターでは、パレットを利用しない手荷役が残っているほか、長時間の手待ち時間も発生している。

現在の物流が抱える多くの問題は、サプライチェーン全体の効率の悪さが背景となっている。今後、物流の改革を進めるには、物流事業者だけでは対応できないのであり、荷主も主体的に取り組むことが欠かせない。特に、発荷主だけでなく、着荷主の重要性が指摘される場所である。着荷主の要求に合わせて、リードタイム、納品頻度、ロット等が設定され、実際の物流業務が遂行されることも多い。しかしながら、着荷主の多くは、物流業務の実態を把握しておらず、さらに自社の要求が、物流業務全体にどのような影響を与えているのかについて認識したことがないのが一般的である。この問題については、これまでも何度も指摘されてきたところであるが、改善には結び付いてこなかったのが現状である。

自動車運転業務の時間外労働の上限規制が2024年4月から適用されるが、そのため物流の停滞が発生するのではないかと危惧されている。政府は、持続可能な物流を構築するため、物流の適正化、生産性向上に向けた取り組みを進めるとし、物流プロセスの課題を解決し、物流の合理化を図る措置の検討、経営者層の意識改革を促す措置の法制化を検討している。その際、物流事業者だけでなく、発荷主、着荷主を含めた連携・協働が重要な論点となっている。

本大会では、持続可能な物流の実現に向けて、発荷主、着荷主、物流事業者(元請け、下請け)が、どのように連携し、取り組むべきかをテーマとして、広い視点から議論するものである。

## 第40回 日本物流学会 全国大会 プログラム

9月14日（木）夕刻に役員会を開催（オンライン）

9月15日（金）10時00分～10時10分 開会挨拶  
10時10分～12時00分 40周年記念シンポジウム  
12時00分～13時30分 昼休み  
13時30分～16時00分 パネルディスカッション  
16時20分～17時20分 会員総会

9月16日（土）10時00分～12時30分 統一論題、自由論題、院生セッション  
13時30分～16時30分 統一論題、自由論題、院生セッション

※開催形式はすべて対面（流通経済大学新松戸キャンパス）とオンライン（Zoom）の併用です。

※新型コロナウイルス感染状況を考慮し、懇親会は開催いたしません。

※以上の時間設定等は一応の目安で、変更の可能性があります。詳細は確定次第、学会のホームページに掲載しますので、ご確認ください。

### 第40回 全国大会実行委員会

実行委員長	矢野 裕児	（流通経済大学 流通情報学部 教授）
実行委員	石田 努	（流通経済大学 流通情報学部 教授）
実行委員	片山 直登	（流通経済大学 流通情報学部 教授）
実行委員	鈴木 理沙	（流通経済大学 流通情報学部 准教授）
実行委員	林 克彦	（流通経済大学 流通情報学部 教授）
実行委員	洪 京和	（流通経済大学 物流科学研究所 准教授）
実行委員	味水 佑毅	（流通経済大学 流通情報学部 教授）
実行委員	宮武 宏輔	（東京経済大学 経営学部 准教授）

## 第40回 日本物流学会 全国大会の報告者募集

第40回全国大会の研究報告会の報告者を募集します。研究報告会は、2023年9月16日（土）におこなわれます。

なお、研究報告会は対面とオンラインの併用で開催しますが、**報告者は原則、対面**といたします。なお、どうしても難しい場合はオンラインでも可とします。

報告を希望される場合、「全国大会研究報告申込用紙」（別紙4）を日本物流学会ホームページからダウンロードして、必要事項を記入のうえ第40回日本物流学会全国大会実行委員会宛に電子メールの添付ファイルで提出してください。

提出締切は **2023年7月25日（火）** です。

※日本物流学会HP【研究報告申込用紙ダウンロード先】

<https://www.logistics-society.jp/>

※第40回日本物流学会全国大会実行委員会メールアドレス【申込用紙送信先】

[2023jls40@gmail.com](mailto:2023jls40@gmail.com)

実行委員会から報告者への連絡やお願いは電子メールにて行います。実行委員会への連絡や問い合わせも、上記メールアドレス宛に電子メールでお願いします。

研究報告集への原稿提出の期限は **2023年8月31日（木）** です。書式等の詳細も含めて、後日、報告予定の方に直接連絡します。

研究報告にあたっては、下記の全国大会の発表に関する規程を参照してください。

### 【日本物流学会全国大会での発表に関する規程】

1. 全国大会で発表する論文の著者（および発表者）は、本学会の会員でなければならない。ただし共著の場合は、論文の筆頭者および発表者が原則として会員で、著者の半数以上が会員であることを発表の条件とする。たとえば、2名ときには最低1名が会員であること、3名ときには最低2名が会員であること（以下同様）。
2. 全国大会において発表する論文は、発表者1名に対して1論文とする。
3. 同一著者が複数の論文の筆頭著者となることはできない。ただし、他論文で2番目以降の共著者となることは認める。
4. 全国大会での発表を申し込んだ会員は、報告の為の原稿提出と大会当日の発表が義務付けられている。原稿が提出できなかった場合は、発表を行うことはできない。また正当な理由がない限り、発表をキャンセルすることはできない。正当な理由がなく発表をキャンセルした場合は、原則として以降2年間は発表の申し込みが出来ないものとする。

付則

この規程は平成26年（2014年）3月8日より施行する。

## 第40回（2023年度）全国大会研究報告申込用紙

報告代表者	お名前	
	ご所属	
	会員種別	正会員                      準会員                      賛助会員
	連絡先	電子メール： TEL：
応募種別	統一論題                      自由論題                      院生セッション	
論文題目		
報告者全員のお名前とご所属		
報告内容のキーワード		
報告の概要を200字程度で記入してください（英文の場合は100字程度）		

※本用紙は、学会のWEBサイト (<https://www.logistics-society.jp/>) からダウンロードしてください。